

札幌市がん対策推進プランの進捗について

1. 成果指標（がんによる死亡率の減少）

	平成23年 (基準値)	平成28年 (中間評価)	令和元年 (直近の値)	令和5年 (目標値)
75歳未満のがん 年齢調整死亡率 ※人口10万対の数値	92.6	85.9	81.4	70.3

○健康さっぽろ21中間評価 : A (目標に向かって順調に推移)

2. がん検診受診率

目標値：「胃、大腸、肺→40%」「子宮、乳→50%」

国民生活 基礎調査	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮がん	乳がん
平成25年	38.0%	35.1%	37.4%	42.7%	42.3%
平成28年	38.9%	38.2%	38.5%	43.0%	41.4%
令和元年	48.6%	42.6%	45.5%	41.9%	43.4%

○健康さっぽろ21中間評価 子宮がん：C (目標に向かってやや遅れまたは変化なし)
乳がん : D (目標値から遠ざかっている)

3. がん検診における新型コロナウイルス感染症の影響

資料2『札幌市がん検診受診者数比較
(新型コロナウイルス感染症拡大時期)』参照

4. 取組一覧

別紙『札幌市がん対策推進プラン取組一覧』参照

5. 令和元年度に実施した事業（主なもの）

重点施策 ① 「がん予防」

- 感染に起因するがんへの対応
 - ・40歳代の偶数歳を対象とした札幌市胃がんリスク判定を実施し、合わせてヘリコバクター・ピロリ除菌を推進
- たばこ対策
 - ・子育て世帯の禁煙外来受診促進事業（22人に医療費を助成）
 - ・健康増進法の改定にともない、「札幌市受動喫煙対策ハンドブック」を新たに作成

重点施策 ② 「早期発見・早期治療」

- 早期発見の推進
 - ・がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会による普及啓発を実施
 - ▷主な啓発活動
 - がん予防の標語コンクール（小中学生向け）
 - ラジオ、Facebookを通じたがん検診受診意識の涵養
 - ・対象者（4月1日現在対象年齢（乳がん40歳、子宮がん20歳の女性））に無料クーポン券を送付して受診を勧奨（送付数：乳がん14,433名、子宮がん9,255名）

重点施策 ③ 「がん患者の及びその家族等への支援」

- 働く世代のがん患者への支援
 - ・事業所等と連携し、総合的ながん対策の推進するため、「がん対策認定企業制度」を継続。制度の周知のため事業者と連携をしながら健康経営セミナーを実施（2回）

重点施策 ④ 「がん教育」

- がん教育推進支援
 - ・がん予防標語コンクール（小中学生向け）（再掲）
 - ・札幌市内の小・中・公・特別支援学校に所属する職員向けにがん教育に関する研修を開催（25人参加）

6. 令和3年度以降に実施予定の主な事業

- がん教育（令和2年度中に実施要綱作成、市立学校に配布）
 - ・令和3年度：講師派遣の調整
- HPV検査
 - ・令和3年度：専門部会による実施方法、対象等の検討
 - ・令和4年度：検査の実施

7. 課題・今後の方向性

- 受診率は向上しているが、今後は新型コロナウイルス感染症の影響による減少も想定されることから、令和2年度に実施した受診率調査（市民へのアンケート調査）の結果を精査し、効果的な普及啓発や受診機会拡大への施策を検討、実施していく。
- 令和2年度に実施した、精検受診率向上のための医療機関への研修の効果を検証し、今後の事業の方法を検討する。

札幌市がん検診受診者数比較（新型コロナウイルス感染症拡大時期）

○がん検診休止期間

【 集団検診：	① 3月6日	～	3月31日	（各区保健センター）
	② 4月14日	～	5月31日	（地区会館等、各区保健センター）
【 個別検診：	休止期間なし			

○緊急事態宣言期間

【 北海道	：	2月28日	～	3月19日
【 国	：	4月16日	～	5月25日

	胃がん			大腸がん			肺がん			乳がん			子宮がん			全			
	H31年	R 2年	前年比	H31年	R 2年	前年比	H31年	R 2年	前年比	H31年	R 2年	前年比	H31年	R 2年	前年比	H31年	R 2年	前年比	
1月	1,058	1,102	104.2%	3,126	3,391	108.5%	456	986	216.2%	2,417	2,833	117.2%	4,835	5,093	105.3%	11,892	13,405	112.7%	1月
2月	1,370	1,105	80.7%	4,393	4,011	91.3%	597	1,414	236.9%	3,003	3,028	100.8%	5,282	5,021	95.1%	14,645	14,579	99.5%	2月
3月	2,463	987	40.1%	7,026	3,805	54.2%	978	742	75.9%	4,674	2,960	63.3%	6,894	4,924	71.4%	22,035	13,418	60.9%	3月
4月	1,373	483	35.2%	4,030	1,885	46.8%	160	476	297.5%	2,431	1,090	44.8%	5,501	3,258	59.2%	13,495	7,192	53.3%	4月
5月	2,072	201	9.7%	5,670	920	16.2%	2,063	154	7.5%	2,405	695	28.9%	5,179	3,065	59.2%	17,389	5,035	29.0%	5月
6月	2,191	962	43.9%	5,998	3,502	58.4%	2,076	2,244	108.1%	2,620	1,697	64.8%	5,867	5,066	86.3%	18,752	13,471	71.8%	6月
7月	2,550	1,574	61.7%	6,496	5,450	83.9%	2,439	3,453	141.6%	3,204	2,797	87.3%	6,365	6,060	95.2%	21,054	19,334	91.8%	7月
8月	1,930	1,411	73.1%	5,472	4,604	84.1%	2,051	2,822	137.6%	3,298	2,755	83.5%	5,791	5,674	98.0%	18,542	17,266	93.1%	8月
計	15,007	7,825	52.1%	42,211	27,568	65.3%	10,820	12,291	113.6%	24,052	17,855	74.2%	45,714	38,161	83.5%	137,804	103,700	75.3%	計

- 肺がん検診：H31年4月の大幅な受診者減は年度当初で集団検診の実施回数が少ないことによる
 ○乳がん検診：R1年8月より超音波検査を追加しているが、H31年との比較のためマンモグラフィのみの件数としている
 ○子宮がん検診：頸部のみ と 頸部+体部 の合計
 ○全：5大がんの各月の合計。複数の検診を受けている方は重複される

札幌市検診情報システムより

緊急事態宣言と集団検診の休止期間が重なる3～5月にかけて大幅な減少が見られ、新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えと推察される。

6月以降は徐々に回復の動きがみられ、特に肺がん検診は昨年度同月以上の受診者数となっている。

全体的な流れとして受診者数は回復傾向であり、受診控えによる罹患者見逃しのリスクは徐々に解消していくものと推定される。